

# HD FLOW™

## ユーザーマニュアル



HD FLOWは映像の無線転送を可能にするHDMI転送機です。転送する映像はフルHD1080pまで対応可能となっており、デジタルサイネージ・プレゼンテーション・レクリエーションなど多彩なシーンで高品質な映像転送を実現いたします。  
大がかりな施工や配線は不要です。本書およびクイックスタートガイドをご確認いただき、快適なワイヤレス転送をお楽しみください。

## 目次

ご利用になる前に	3
安全上の注意	3
お手入れの方法について	3
製品の特長	4
パッケージ内容	4
製品仕様一覧	5
製品動作の概要	6～7
各部の名称と動作	8～13
本体の設置(無線での接続)	14～15
LANで接続する	16～17
HD FLOWの本体設定画面	18～22
受信機の増設方法	23～26
転送対応表	27～28
よくある質問と回答	29～30
保証とアフターサービス	31

### 株式会社INBYTE サポートセンター

メールアドレス admin@inbyte.jp  
電話番号 03-6809-1702  
受付時間 10:30～18:00(土・日曜日、祝祭日および当社指定休業日を除く)  
ホームページ <http://inbyte.jp/>

- » 本製品に関するお問い合わせ、およびサポートについては日本国内限定とさせていただきます。
- » 通話中の場合、しばらく経ってからお掛け直しいただきますようお願いいたします。
- » 年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

## ご利用になる前に

ワイヤレスHDMI転送機『HD FLOW (HDF-200)』をご購入いただき、ありがとうございます。  
本書では製品の機能と操作方法をご案内しています。製品に関する重要な注意事項や、正しい取り扱い方法なども記載されておりますので、ご利用前に必ずご一読ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

## 安全上の注意



**警告** 以下の注意事項を必ずご確認ください。  
製品を正しく使用しなかった場合、重大な事故につながる恐れがあります。

- » 本製品を分解・改造しないでください。また、分解・改造された製品に関しては、保証期間内であっても保証対象外となります。
- » 本体やケーブルの上に物を載せたり、無理な力のかかる環境で使用しないでください。また、ケーブルを折り曲げたり、切断・加工を行わないでください。
- » 本製品の中に異物を入れないでください。
- » 本製品は精密機械です。以下の条件で保管・使用しないでください。  
高温になる場所／火気に近い場所／引火性液体や可燃性ガスにさらされる恐れのある場所／湿気の多い場所／水にぬれる恐れのある場所／埃の多い場所／強い電磁波・磁力の発生する場所／静電気の多い場所／結露の発生しやすい場所
- » 本製品に純正アダプタ以外を使用しないでください。
- » 本製品が正しく動作しない場合や、本体に変形や発煙が見られる・異音や異臭がする場合には、ただちに使用を中止してください。
- » 電源アダプタなどのケーブルに破損が見られる場合、ただちに使用を中止してください。
- » 本製品やその付属品をお子様の手が届くところに放置しないでください。
- » 本製品を長時間使用しない場合、電源アダプタを抜いて保管してください。
- » 本製品を使用したことで発生したいかなる損害に対しても、保証はいたしかねます。

## お手入れの方法について

本製品をお手入れする際は、柔らかい乾いた布で本体表面を軽く拭いてください。水やクリーニング剤などは製品の破損につながりますので、使用しないでください。

## 製品の特長

- ▶ 最大40mの長い伝送距離を実現
- ▶ 映像遅延30ms未満
- ▶ HDMI端子・コンポジット端子・VGA端子などを搭載、多くの映像機器に対応
- ▶ 無線接続と有線(LANケーブル)の接続方式に対応
- ▶ HDCP(広帯域デジタルコンテンツ保護) V1.1に準拠
- ▶ DTV・VESA両方の規格に対応  
DTV 1920×1080、1280×720、720×480  
VESA WSXGA+ (1680)、SXGA (1280×1024)、WXGA (1280×800)、XGA (1024×768)  
SVGA (800×600)、VGA (640×480)
- ▶ パッシブ方式3Dコンテンツに対応
- ▶ プラグアンドプレイシステム(接続機器への手動設定作業が不要)

## パッケージ内容

パッケージには本体のほか付属品が同梱されています。はじめから破損していたり、付属品が不足している場合には、購入店舗までお問い合わせください。



送信機 ※1



受信機



スタンド×2 ※2



ACアダプタ×2 ※2



コンポーネント入力用アダプタ ※1



赤外線受信延長ケーブル ※1



赤外線送信ケーブル ※1



本体用リモコン



ボタン電池  
(本体用リモコンに使用)



クイックスタートガイド



取扱説明書(本書)

※1 HDF-200Rには付属しておりません。

※2 HDF-200Rの場合は1個のみ付属します。

## 製品仕様一覧

型番	hdf-200
映像入力	HDMI端子×2 コンポジット端子×1 VGA端子×1 コンポーネント入力用アダプタ×1 (VGA端子へ接続)
音声入力	3.5mmステレオミニジャック×1 RCAオーディオジャック×1
映像出力	HDMI端子×1 コンポジット端子×1 コンポーネント端子×1
音声出力	3.5mmステレオミニジャック×1 RCAオーディオジャック×1
接続方式	無線：IEEE 802.11n:OFDM 有線：LANケーブル
無線周波数	5.19～5.23 GHz
伝送距離	最大40m ※利用環境や遮断物の有無によって大きく変わります
映像遅延	30ms未満
対応解像度	480i、480p、720p、1080i、1080p (24 / 30 / 60 fps)
LAN	RJ-45 10 / 100 Base
USB	Aタイプ USB1.1 / 2.0対応
アンテナ	内蔵アンテナ×各2個 (送信機・受信機ともに) MIMO対応
赤外線送信	IRフラッシャー×3
赤外線受信	IRエクステンダー×1
電源	入力：AC100V～240V 50 / 60Hz 0.55A 出力：DC12V 2A
寸法	27×103×195mm (送信機・受信機ともに)
重さ	送信機：318g 受信機：296g
動作環境	0℃～40℃ (保管温度：-10℃～85℃)
工事設計認証番号 (TELEC認証)	受信機：010XWBT0001 送信機：010XWBT0002

### ビデオフォーマットサポート

- デジタルビデオ  
HDMI：最大1080p (24Hz、25Hz、30Hz、50Hz、60Hz)
- アナログビデオ  
コンポジット：480i (60Hz、70Hz、85Hz)  
コンポーネント：1080i (50Hz、60Hz)、720P (50Hz、60Hz)  
VGA：1920 (50Hz、60Hz)

### オーディオフォーマットサポート

- アナログ
- デジタル
- 受信機はステレオ音声出力

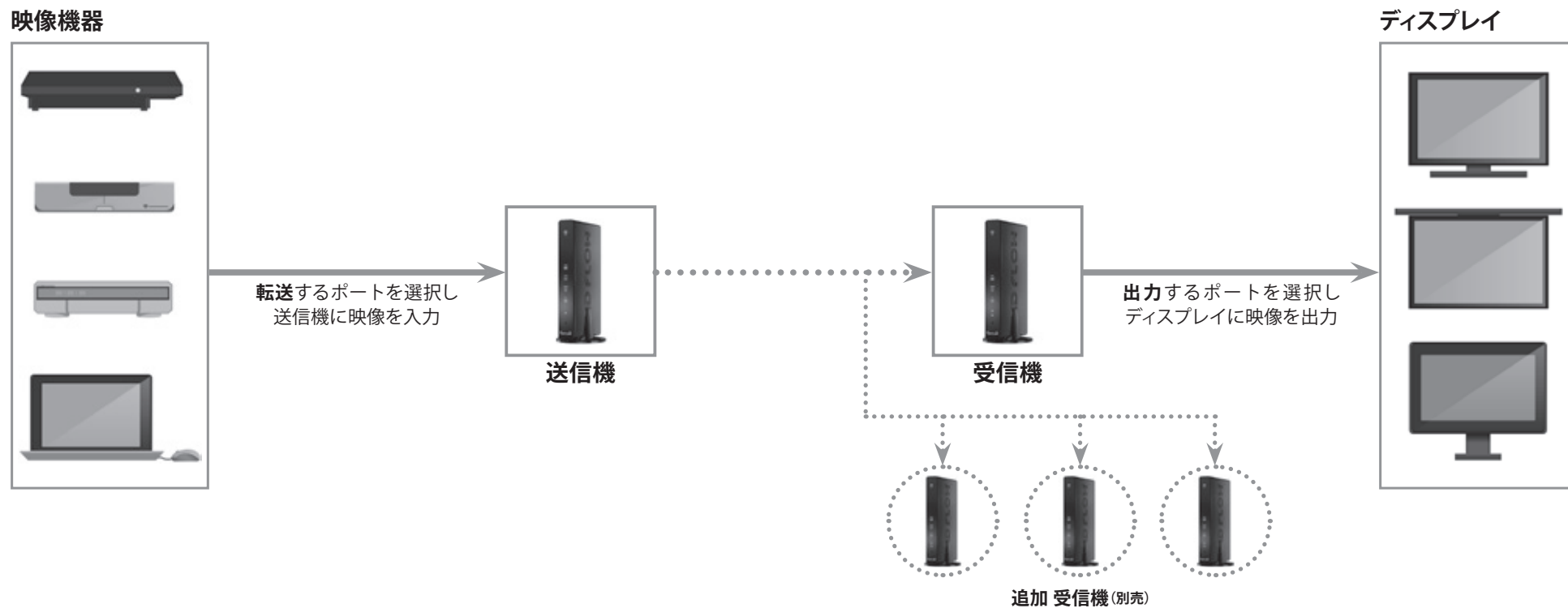
### 無線接続

- P2P (送信機・受信機の1対1使用)
- マルチキャスト (受信機の複数台使用)



### WiFiチャンネルの周波数

- チャンネル1：5.19GHz (無線LANチャンネル38)
- チャンネル2：5.23GHz (無線LANチャンネル46)



無線接続時には2つのチャンネルを利用できます。デフォルト(チャンネル1)で電波干渉などの問題が発生している場合は、チャンネル2へ変更することで、電波干渉を緩和できます。



**本体に使用できるリモコン** 各部の名称と動作・本体用リモコン→P.12

- 
**本体用リモコン**  
 送信機または受信機に向けて使用すると、転送するポートや出力するポートを操作したり、LAN接続を開始することができます。
- 
**映像機器のリモコン**  
 受信機に向けて使用すると、映像機器を操作できます。  
 ※赤外線送信ケーブルの設置が必要です。

**マルチキャスト(受信機の複数台使用)** 受信機の増設方法→P.23

- 
**無線接続の場合**  
 送信機 1 台に対し、4 台の受信機を使用することができます。  
 (増設分の受信機は別売りです)
- 
**LAN接続の場合**  
 送信機 1 台に対する受信機の増設数に制限はありません。

II送信機(正面)



電源・ソース選択ボタンの動作

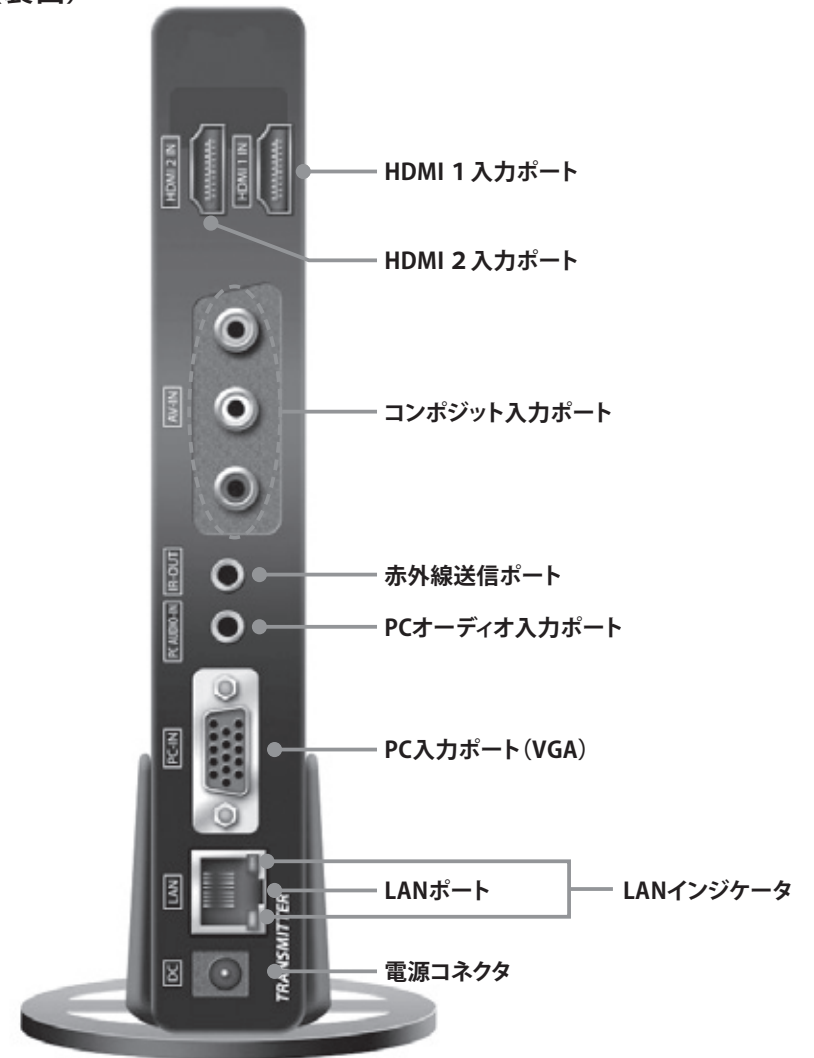
送信機の電源がオフのとき

- 3秒間長押し：送信機の電源をオンにします。

送信機の電源がオンのとき

- 短く押す：転送する対象のポートを切り替えます。(HDMI 1→HDMI 2→PC→AV)
- 8秒間長押し：送信機の電源をオフにします。(選択中のポートおよび無線/LAN接続の状態が保存されます)

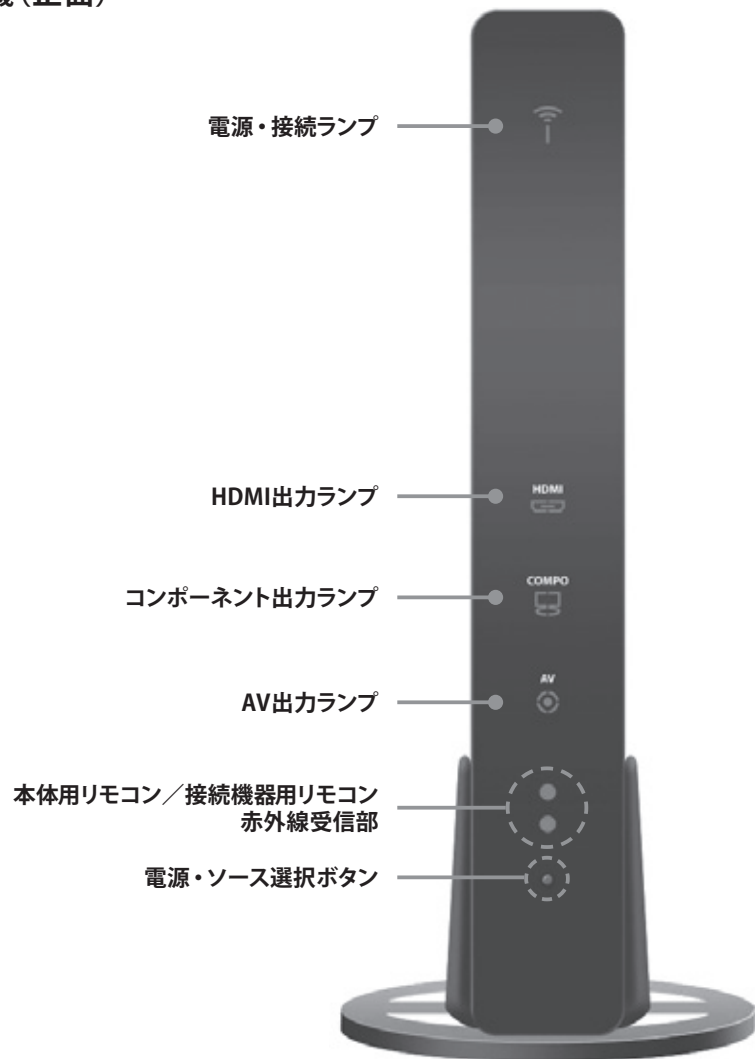
II送信機(裏面)



各ランプの示す状態

点灯するランプ	点灯	点滅	急速点滅
電源・接続ランプ	起動中または送信機と受信機が接続中	送信機と受信機の接続が確立され、シグナル転送の待機中	本体のアップデートまたは無線接続/LAN接続の切り替え中
HDMI 1 ランプ HDMI 2 ランプ PC入力ランプ AV入力ランプ	転送するポートとして選択されている	転送するポートとして選択されているが、シグナルがない/ケーブルが接続されていない	

## II受信機(正面)



### 電源・ソース選択ボタンの動作

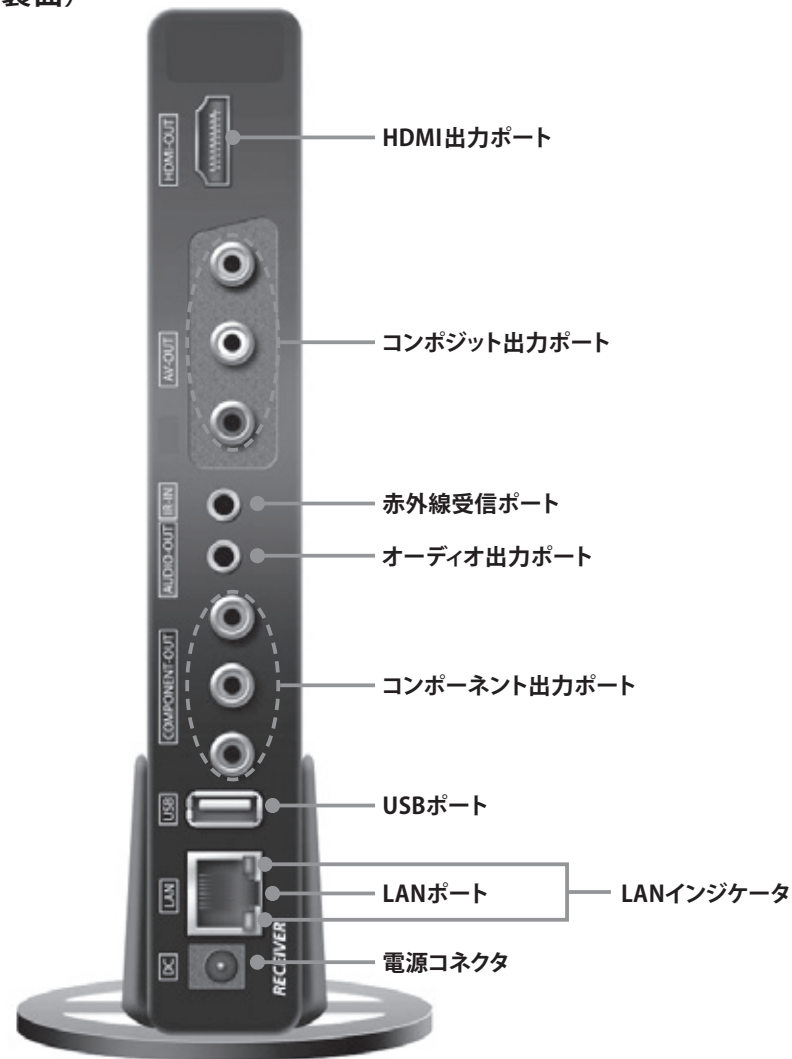
#### 受信機の電源がオフのとき

- 3秒間長押し：受信機の電源をオンにします。

#### 受信機の電源がオンのとき

- 短く押す：映像を出力するポートを切り替えます。(HDMI→コンポーネント→AV)
- 8秒間長押し：受信機の電源をオフにします。(選択中のポートおよび無線／LAN接続の状態が保存されます)

## II受信機(裏面)



### 各ランプの示す状態

点灯するランプ	点灯	点滅	急速点滅
電源・接続ランプ	起動中または送信機と受信機が接続中	送信機と受信機の接続が確立され、シグナル転送の待機中	本体のアップデートまたは無線接続／LAN接続の切り替え中
HDMIランプ コンポーネント出力ランプ AV出力ランプ	映像を出力するポートとして選択されている	映像を出力するポートとして選択されているが、シグナルがない／ケーブルが接続されていない	

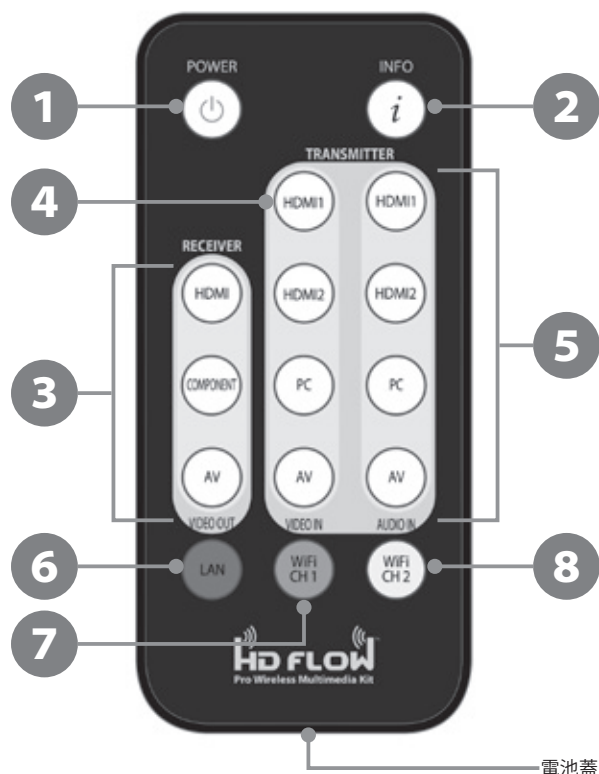
## II 本体用リモコン

### リモコンの操作対象<sup>※1</sup>

接続方式	リモコンを向ける本体	受信機	送信機
P2P (1対1)		送信機と受信機	送信機と受信機
マルチキャスト (複数台)		送信機またはリモコンを向けている受信機 <sup>※2</sup>	グループ内の本体全て

※1 電源・接続ランプが点滅中(起動中・切り替え中)の本体は同時に操作することはできません。

※2 受信機に対するリモコン操作で送信機を電源オフにすることはできません。



### 1 電源ボタン

電源オフのとき(電源・接続ランプが消灯している状態)

電源がオンになります。起動に約1分30秒かかります。

スタンバイモードのとき(電源・接続ランプが点灯している状態)

電源がオンになります。起動に約30秒かかります。

電源オンのとき

スタンバイモードにします。本体のランプは電源・接続ランプを除き消灯します。

●約8秒長押し: 電源をオフにします。(選択中のポートおよび無線/LAN接続の状態が保存されます)

### 2 インフォボタン

受信機へ向けて使用することで、以下の情報を表示します。  
送信機との接続が確立されていない場合、送信機の情報は表示されません。

#### TX (送信機の情報)

WIFI	WiFiのチャンネルとIPアドレス
LAN_IP	LANのIPアドレス
S/W ver-hdflow	本体のファームウェアバージョン
VideoIn	転送対象として選択されているポート名と、転送する映像の解像度
AudiIn	転送対象として選択されているポート名と、転送する音声の有無

#### RX (受信機の情報)

WIFI	WiFiのチャンネル
LAN_IP	LANのIPアドレス
S/W ver-hdflow	本体のファームウェアバージョン
VideoOut	出力対象として選択されているポート名
Display	出力しているディスプレイの解像度
WIFI quality	通信の強度(1が最も弱く、5が最も強い)

### 3 出力ポート選択ボタン(受信機)

受信機がどのポートへ映像・音声を出力するか選択します。  
(HDMI、コンポーネント、AV)

### 4 映像転送ポート選択ボタン(送信機)

送信機がどのポートからの映像を転送するか選択します。  
(HDMI1、HDMI2、PC、コンポーネント、AV)

### 5 音声転送ポート選択ボタン(送信機)

送信機がどのポートの音声を転送するか選択します。(HDMI1、HDMI2、PC、コンポーネント、AV)  
※AVオーディオやPCオーディオなど、独立したオーディオ機器を使用する際に選択します。  
※映像の転送ポートを切り替えると、音声の転送ポートも同じポートに切り替わります。

### 6 LANモードボタン

●約6秒長押し: LAN(有線)モードを選択します。(LANで接続する→P.16)

### 7 WiFiチャンネル1ボタン

●約6秒長押し: WiFi(無線)モードのチャンネル1を選択します。

### 8 WiFiチャンネル2ボタン

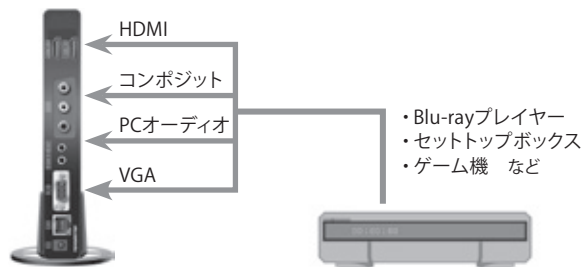
●約6秒長押し: WiFi(無線)モードのチャンネル2を選択します。

# ■ 本体の設置 (無線での接続)

## II 送信機の設置

1

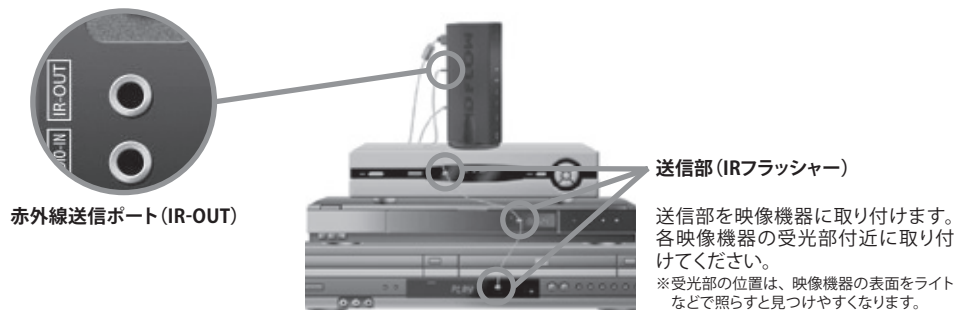
送信機に映像機器を接続します。



2

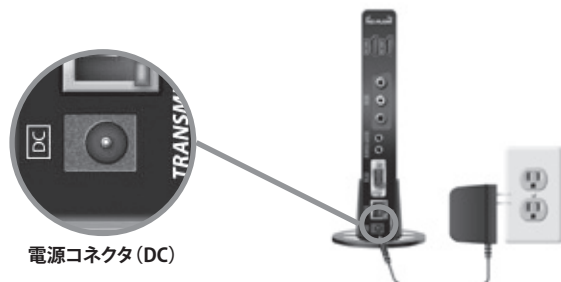
遠隔から映像機器を操作したい場合、『赤外線送信ケーブル』を設置します。設置すると、受信機に向けて映像機器のリモコンが使用できます。

下図を参照に、送信機裏面にある赤外線送信ポート (IR-OUT) に『赤外線送信ケーブル』を接続し、送信部を映像機器に取り付けてください。



3

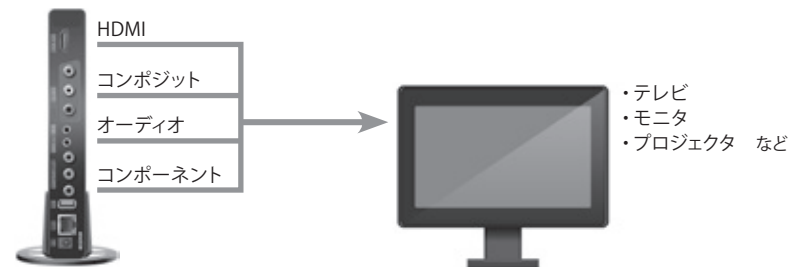
送信機裏面の電源コネクタ (DC) に送信機用『電源アダプタ』を接続します。電源アダプタをコンセントに差し込むと、自動で電源がオンになるので、映像を転送したい映像機器の電源を入れてください。



## II 受信機の設置

1

受信機にディスプレイを接続します。



2

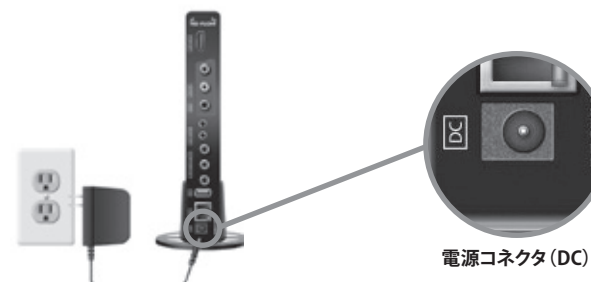
『赤外線受信延長ケーブル』を接続すると、受信機の受光部を増やすことができます。設置場所の関係上、リモコンが効きづらい場合などに有効です。

受信機裏面の赤外線受信ポート (IR-IN) に『赤外線受信延長ケーブル』を接続し、延長受光部をリモコンの効きやすい位置に取り付けます。



3

受信機裏面の電源コネクタ (DC) に受信機用『電源アダプタ』を接続します。電源アダプタをコンセントに差し込むと、自動で電源がオンになるので、映像を出力したいディスプレイの電源を入れてください。





## LANで接続する

HD FLOWは、送信機と受信機をLANケーブルで接続することができます。  
1本のLANケーブルで接続する方法のほか、ハブ経由で接続することもできます。

### ⅡLANケーブルによるダイレクト接続

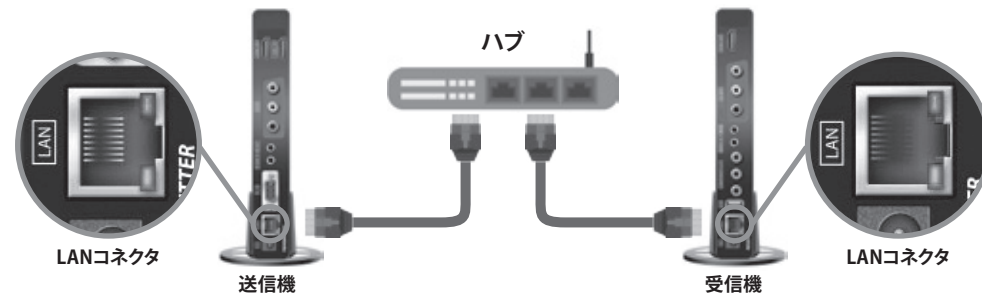


- 1 送信機と受信機にLANケーブルを接続します。  
接続が認識された場合、LANインジケータの緑色のライトが点灯します。
- 2 受信機に本体用リモコンを向け、正面の全ランプが点滅し始めるまで約6秒ほど『LANボタン』を押し続けます。  
この動作中、映像や音声の転送および出力は行われません。
- 3 HD FLOWが再起動します。電源を外したり、リモコンなどで操作したりせず、そのままお待ちください。再起動には2分程度かかる場合があります。本体正面の電源・接続ランプが点灯状態になっていれば再起動の完了です。
- 4 再起動が完了したら、本体裏面のLANインジケータを確認してください。正しく接続されている場合は、送信機・受信機のLANインジケータが急速点滅します。

ワイヤレス接続に戻る場合、本体用リモコンを受信機へ向け『WiFi Channel 1』ボタンを約6秒押し続けます。  
映像や音声の転送・出力が中止され、HD FLOWが再起動します。

### Ⅱハブを使用したLAN接続

ハブを使用してHD FLOWを接続する場合、送信機・受信機のイーサネットIPアドレスをネットワーク内で重複しないよう割り当ててください。



- 1 LANケーブルを使い、送信機と受信機をハブに接続します。  
接続が認識された場合、LANインジケータの緑色のライトが点灯します。
- 2 受信機に本体用リモコンを向け、正面の全ランプが点滅し始めるまで約6秒ほど『LANボタン』を押し続けます。  
この動作中、映像や音声の転送および出力は行われません。
- 3 HD FLOWが再起動します。電源を外したり、リモコンなどで操作したりせず、そのままお待ちください。再起動には2分程度かかる場合があります。本体正面の電源・接続ランプが点灯状態になっていれば再起動の完了です。
- 4 再起動が完了したら、本体裏面のLANインジケータを確認してください。正しく接続されている場合は、送信機・受信機のLANインジケータが急速点滅します。

ワイヤレス接続に戻る場合、本体用リモコンを受信機へ向け『WiFi Channel 1』ボタンを約6秒押し続けます。  
映像や音声の転送・出力が中止され、HD FLOWが再起動します。

## HD FLOWの本体設定画面

LAN接続や増設を行う場合、HD FLOW本体の設定が必要になることがあります。その場合は、下記の手順を参照に本体設定画面を開いてください。



### 注意

- ・本設定にはネットワーク構築の経験が推奨されます。
- ・各本体ごとに個別に設定を行う必要があります。

1

パソコンに管理者権限のあるユーザーでログインした後、『スタート』から『コントロールパネル』を選択します。

2

『ネットワークの状態とタスクの表示』をクリックし、『アダプターの設定の変更』(Windows Vistaの場合には『ネットワーク接続の管理』)に進みます。

3

『ローカルエリア接続』を右クリックし、『プロパティ』を表示します。

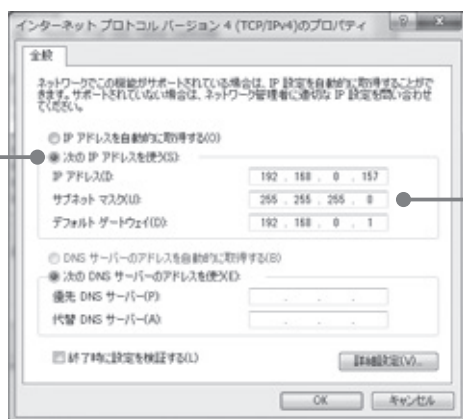
4

『インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)』を選択し、『プロパティ』をクリックします。  
『次のIPアドレスを使う』にチェックを入れ、IPアドレスを下記のように入力してください。

2

IPアドレス：192.168.0.157  
サブマスク：255.255.255.0  
デフォルトゲートウェイ：192.168.0.1

1 チェックを入れる



5

パソコンと本体をLANケーブルで接続してください。接続すると本体正面の全ランプが点滅します。点滅が終了するのを待ってから次の手順に進んでください。

6

パソコンでインターネットブラウザを開き、URLに**送信機の設定を行う場合は『192.168.0.151』**を入力します。**受信機の場合には『192.168.0.152』**を入力します。(初期設定の値です。設定を変更している場合には、その値を入力してください)

7

設定画面が開きます。左 (Navigation) から各設定ページを開き、設定が必要な項目を変更してください。

### 初期画面の構成

Navigation	System Configuration
<input type="checkbox"/> System Configuration	<b>Ethernet IP</b> 192.168.0.151
<input type="checkbox"/> Streaming Control	<b>Ethernet NetMask</b> 255.255.255.0
<input type="checkbox"/> Save Changes	<b>Ethernet MAC</b> 00:26:90:02:6B:C4
<input type="checkbox"/> Reboot System	<b>Gateway</b> 192.168.0.1
	<b>Streaming Mode</b> P2P
	<b>Streaming I/F</b> WIFI
	<b>Wifi Channel</b> 36
	<b>Wifi SSID</b> ITRIO_6BC4
	<b>Wifi Status</b> working
	<b>Group IP(multicast)</b> 227.2.2.7
	<b>Peer IP(Ian)</b> 192.168.0.152
	<input type="button" value="Submit"/> <input type="button" value="Refresh"/>

### 設定ページナビゲーション

System Configuration (P.20)  
Streaming control (P.21)  
Save Changes (P.22)  
Reboot System (P.22)

### 設定ページ

## System Configuration

本体のシステムを変更します。変更後は「Submit」を押し、ナビゲーション内にある『Save Changes』を実行することで反映されます。

### 送信機の場合

イーサネットIP	● Ethernet IP	192.168.0.151
イーサネット ネットマスク	● Ethernet NetMask	255.255.255.0
イーサネット MAC	● Ethernet MAC	00:26:90:02:6B:C4
ゲートウェイ	● Gateway	192.168.0.1
ストリーミングモード (P2P / Multicast)	● Streaming Mode	P2P
ストリーミングI/F (WIFI / LAN)	● Streaming I/F	WIFI
WiFiチャンネル	● Wifi Channel	36
WiFi SSID	● Wifi SSID	ITRIO_6BC4
WiFiステータス	● Wifi Status	working
グループIP (multicast)	● Group IP(multicast)	227.2.2.7
ピアIP (lan)	● Peer IP(lan)	192.168.0.152
送信	●	Submit Refresh
最新の情報を取得する		

### 受信機の場合

イーサネットIP	● Ethernet IP	192.168.0.152
イーサネット ネットマスク	● Ethernet NetMask	255.255.255.0
イーサネット MAC	● Ethernet MAC	00:26:90:09:6B:C4
ゲートウェイ	● Gateway	192.168.0.1
ストリーミングモード (P2P / Multicast)	● Streaming Mode	P2P
ストリーミングI/F (WIFI / LAN)	● Streaming I/F	WIFI
WiFiチャンネル	● Wifi RXID(multicast)	SLAVE1
WiFi SSID	● Wifi SSID	ITRIO_6BC4
WiFiの通信強度	● Wifi Quality	Not-Associated
グループIP (multicast)	● Group IP(multicast)	227.2.2.7
ピアIP (lan)	● Peer IP(lan)	192.168.0.151
送信	●	Submit Refresh
最新の情報を取得する		

## Streaming Control

転送情報を表示・変更します。変更後は「Submit」を押し、ナビゲーション内にある『Save Changes』を実行することで反映されます。

起動時に転送の対象とするポートを変更すると、次回起動した際、そのポートが自動で選択されます。

### 送信機の場合

ローカルマシン	● Local Machine	Multicast Encoder
ローカルマシンのファームウェアバージョン	● Local SW version	hdflow.202.15-252-7
起動時に映像転送の対象とするポート	● Video In Port	HDMI_1
起動時に音声転送の対象とするポート	● Audio In Port	HDMI_1
映像シグナル	● Video Signal	not detected
送信	●	Submit Refresh
最新の情報を取得する		

### 受信機の場合

接続中の送信機の情報	● Peer Machine Info	None
ローカルマシン	● Local Machine	Multicast Decoder
ローカルマシンのファームウェアバージョン	● Local SW version	hdflow.202.15-252-7
起動時に音声転送の対象とするポート	● Video Out Port	HDMI
接続中のディスプレイ情報	● Display	Unknown
転送(映像 / 音声)	● Streaming	Video-Off / Audio-On Restart Streaming
送信	●	Submit Refresh
最新の情報を取得する		

## 受信機の増設方法

受信機を2台以上に増設する場合、本体に設定を行う必要があります。LAN接続で増設を行う場合には、『LANで接続する』(P.16)も参照にしてください。



### 注意

- ・本設定にはネットワーク構築の経験が推奨されます。
- ・各本体ごとに個別に設定を行う必要があります。

## 送信機の設定

1

最初に**送信機**の設定を行います。  
P.18『HD FLOWの本体設定画面』の1～7に従い、送信機の設定画面(System Configuration)を開いてください。

2

下図の通り、設定の確認と変更を行ってください。  
設定を変更したら、画面下部分にある **Submit** を押します。

The screenshot shows the 'System Configuration' screen with the following fields and values:

- Ethernet IP: 192.168.0.151
- Ethernet NetMask: 255.255.255.0
- Ethernet MAC: 00:26:90:02:6B:F1
- Gateway: 192.168.0.1
- Streaming Mode: Multicast (selected)
- Streaming I/F: WiFi
- Wifi Channel: 96
- Wifi SSID: TRIO\_6BF1
- Wifi Status: working
- Group IP(multicast): 227.2.2.7
- Peer IP(lan): 192.168.0.152

Buttons at the bottom: Submit, Refresh.

Annotations on the right side:

- ストリーミングモード**  
『Multicast』に変更してください。
- WiFi SSID**  
受信機の設定に使用します。  
本体側面のラベルにも記載されています。
- グループIP (multicast)**  
受信機の設定に使用します。  
本体側面のラベルにも記載されています。
- 送信**  
上記の設定が完了したらSubmitボタンを押してください。

3

左側のナビゲーションバーにある『Save Changes』(変更の保存)をクリックして設定を適用してください。  
パソコンと接続を解除する場合、**電源・接続ランプが点灯状態になっていることを確認してから解除してください**。点滅中(設定の適用中)に解除してしまうと、正常に動作しない恐れがあります。

## Save Changes

『Save Changes』では『System Configuration』から送信された変更内容を保存します。保存後は電源を落としても設定が保持されます。

『システム構成を現在の設定に変更する場合は、「Save」を実行してください』

**Save System Configurations**

If system configurations are changed and you want current settings to be continued, you should save

**Save**

『システム構成を保存しますか? Saveを実行すると、前の状態に戻すことはできません』

**Save System Configurations**

Are you sure you want to save system configurations? If you click below button, you can not put it back.

**Save**

『全てのシステム構成が保存されます』

**Save System Configurations**

All system configurations are saved!!

## Reboot System

『Reboot System』を実行するとシステムを再起動します。

『この機能を行行使すとシステムを再起動します』

**Reboot the system**

Exercising this function will reboot the system

**Reboot**

## II 1台目の受信機の設定

1

1台目の受信機(送信機とセットで購入した受信機)の設定を行います。  
P.18『HD FLOWの本体設定画面』の1～7に従い、送信機の設定画面(System Configuration)を開いてください。

2

下図の通り、設定の確認と変更を行ってください。  
設定を変更したら、画面下部分にある **Submit** を押します。

**System Configuration**

Ethernet IP 192.168.0.152  
Ethernet NetMask 255.255.255.0  
Ethernet MAC 00:26:90:09:6B:F1

Gateway 192.168.0.1

Streaming Mode Multicast  
Streaming I/F WIFI

Wifi RXID(multicast) SLAVE1  
Wifi SSID TRIO 6BFI  
Wifi Quality Not-Associated

Group IP(multicast) 227.2.2.7  
Peer IP(lan) 192.168.0.151

Submit Refresh

**イーサネットIP**  
末尾が152になっていることをご確認ください。  
通常は変更の必要はありません。

**ストリーミングモード**  
『Multicast』に変更してください。

**WiFiチャンネル**  
『SLAVE 1』を選択してください。  
LAN接続の場合は設定の必要はありません。

**WiFi SSID**  
送信機のSSIDと同じ内容を入力してください。  
LAN接続の場合は設定の必要はありません。

**グループIP (multicast)**  
接続したい送信機のグループIPと同じ内容を入力してください。

**送信**  
上記の設定が完了したらSubmitボタンを押してください。

3

左側のナビゲーションバーにある『Save Changes』(変更の保存)をクリックして設定を適用してください。  
パソコンと接続を解除する場合、**電源・接続ランプが点灯状態になっていることを確認してから解除してください**。点滅中(設定の適用中)に解除してしまうと、正常に動作しない恐れがあります。

## II 2台目以降の受信機の設定

1

2台目以降の受信機(増設分)の設定を行います。  
P.18『HD FLOWの本体設定画面』の1～7に従い、送信機の設定画面(System Configuration)を開いてください。

2

イーサネットIPアドレスを、他で使用していない値に変更をしてください。  
設定を変更したら、画面下部分にある **Submit** を押します。

3

**Submit** を押すと変更が一時的に適用されます。この時点でイーサネットIPは初期設定の『192.168.0.152』から『192.168.0.15x』になり、『**192.168.0.152**』にアクセスしている状態では、**設定の変更を継続して行うことができません**。

そのため、**新たに設定したIPアドレスをURLに入力し、本体に再接続してください**。

4

下図の通り、設定の確認と変更を行ってください。  
設定を変更したら、画面下部分にある **Submit** を押します。

**System Configuration**

Ethernet IP 192.168.0.153  
Ethernet NetMask 255.255.255.0  
Ethernet MAC 00:26:90:09:6C:0A

Gateway 192.168.0.1

Streaming Mode Multicast  
Streaming I/F WIFI

Wifi RXID(multicast) SLAVE2  
Wifi SSID TRIO 6BFI  
Wifi Quality Not-Associated

Group IP(multicast) 227.2.2.7  
Peer IP(lan) 192.168.0.151

Submit Refresh

**イーサネットIP**  
新たに設定したIPが入力されていることをご確認ください。

**ストリーミングモード**  
『Multicast』に変更してください。

**WiFiチャンネル**  
他の本体とは異なるSLAVEを選択してください。  
LAN接続の場合は設定の必要はありません。

**WiFi SSID**  
送信機のSSIDと同じ内容を入力してください。  
LAN接続の場合は設定の必要はありません。

**グループIP (multicast)**  
接続したい送信機のグループIPと同じ内容を入力してください。

**送信**  
上記の設定が完了したらSubmitボタンを押してください。

5

左側のナビゲーションバーにある『Save Changes』(変更の保存) をクリックして設定を適用してください。  
パソコンと接続を解除する場合、**電源・接続ランプが点灯状態になっていることを確認してから解除してください**。点滅中(設定の適用中)に解除してしまうと、正常に動作しない恐れがあります。

6

本体を設置し、マルチキャストモードが正しく動作することをご確認ください。  
正しく動作しない場合は、本体の設定が反映されているかもう一度ご確認ください。

## 転送対応表

表示規格	解像度	HD FLOW 送信機			HD FLOW 受信機		
		HDMI	VGA	AV(CVBS)	HDMI	COMP	AV(CVBS)
VESA 規格 (PC standard)	640×480p60	○	○	×	○	×	×
	640×480p70	○	○	×	○	×	×
	640×480p85	○	○	×	○	×	×
	800×600p60	○	○	×	○	×	×
	800×600p70	○	○	×	○	×	×
	800×600p85	○	○	×	○	×	×
	1024×768p60	○	○	×	○	×	×
	1024×768p70	○	○	×	○	×	×
	1024×768p85	○	○	×	○	×	×
	1152×864p60	○	○	×	○	×	×
	1152×864p70	○	○	×	○	×	×
	1152×864p85	○	○	×	○	×	×
	1280×800p60	○	○	×	○	×	×
	1280×960p60	○	○	×	○	×	×
	1280×960p70	○	○	×	○	×	×
	1280×960p85	○	○	×	○	×	×
	1280×1024p60	○	○	×	○	×	×
	1360×768p60	○	○	×	○	×	×
	1440×900p60	○	×	×	○	×	×
	1600×1200Rp60	○	○	×	○	×	×
1600×900p60	○	×	×	○	×	×	
1680×1050p60	○	○	×	○	×	×	

## よくある質問と回答

表示規格	解像度	HD FLOW 送信機			HD FLOW 受信機		
		HDMI	VGA	AV(CVBS)	HDMI	COMP	AV(CVBS)
DTV 規格 (TV standard)	720×480i60(NTSC)	○	○	○	○	○	○
	720×576i50(PAL)	○	○	○	○	○	○
	720×480p60	○	○	×	○	○	×
	720×576p50	○	○	×	○	○	×
	1280×720p50	○	○	×	○	○	×
	1280×720p60	○	○	×	○	○	×
	1920×1080i50	○	○	×	○	○	×
	1920×1080i60	○	○	×	○	○	×
	1920×1080p24	○	○	×	○	×	×
	1920×1080p25	○	×	×	○	×	×
	1920×1080p30	○	×	×	○	×	×
1920×1080p50	○	○	×	○	×	×	
1920×1080p60	○	○	×	○	×	×	

○：互換性あり    ×：互換性なし

### 注意事項

- » 「1600×1200 p60」はReduced Blanking方式です。
- » HD FLOWは送信機から受信機への映像転送のみを行います。解像度や映像形式の変換は行いませんので、入力された映像形式に出力側が対応していない場合には、正常に表示されません。
- » ※送信機側でコンポジット(AV-IN)を利用する場合、入力映像は「480i(NTSC)」または「576i(PAL)」である必要があります。その他の映像形式の場合、コンポジット(AV-IN)入力での動作をサポートしていません。

### サラウンド音声出力に対応していますか？

本製品はステレオ音声出力にのみ対応しています。

### コンポーネント入力用アダプタはどのように使うのですか？

コンポーネント出力を利用して送信機に映像入力したい場合に利用します。送信機のVGAポートに接続してご利用ください。

### 本体の動作にはインターネット接続が必要ですか？

インターネットへの接続は必要はありません。

### 3Dコンテンツには対応していますか？

パッシブ方式にのみ対応しております。アクティブ方式には対応していません。

### WiFiチャンネルが2つありますが、どのように使い分けるのですか？

デフォルト(チャンネル1)で電波干渉などの問題が発生している場合、チャンネル2へ変更する事で電波干渉を緩和させることができます。

### 本体正面にある赤外線受信部は何に使用するのですか？

本体用リモコンを使用すると、電源を操作する、転送/出力のソースを選択する、LAN接続に切り替えるなどの操作が可能です。  
受信機の赤外線受信部に対し、転送元として選択されている機器のリモコンを使用すると、機器の操作が可能になります。(赤外線送信ケーブルの設置が必要です)

### 受信機の赤外線受信範囲はどれぐらいですか？

最大で約1.8m～約2.4mですが、ご利用の環境によって大きく異なります。  
より遠い場所から赤外線を受信したい場合は、赤外線受信延長ケーブルをご利用ください。

### 受信機のマルチキャスト接続で1080p60Hzをストリーミングすることができますか？

すべての機器で1080pに対応している必要があります。そうでない場合、接続している機器の中から最低解像度のものに合わせて設定されます。

### ユニバーサルリモートコントローラーによる学習可能なIRコードはありますか？

HD FLOWのIRコードは学習可能です。37kHzのキャリア周波数とNEC1プロトコルを使用します。

### 転送/出力ポートの初期設定を変更することはできますか？

本体設定画面の『Streaming Control』にて、次回起動時に自動で選択されるポートを変更することができます。(→P.21)

### LANポートは何に使用するのですか？

LAN接続や、本体設定画面へのアクセスに使用します。

### LAN接続で利用可能なLANケーブルの種類は何ですか？

LAN接続では、CAT5eまたはCAT6のストレートケーブル(終端の規格はT568AまたはT568Bのもの)を使用します。

## USBポートは何に使用するのですか？

ファームウェアのアップグレードが必要な場合、または設定ファイルを適用する場合に利用します。

### 【利用方法】

まず、ファームウェアデータまたは設定ファイルデータをUSBメモリのルートフォルダに保存し、そのUSBメモリを本体のUSBポートに挿します。その状態で本体の電源を入れると、自動でファイルが適用されます。

※設定ファイルは一般配布していません。必要に応じ、メーカーサポートから個別に配布されます。

## 本体用リモコンに映像と音声で別のボタンがあるのはなぜですか？

送信機において、映像転送の対象とするポートとは別に、音声転送の対象とするポートを選択できます。ただし、映像と音声にデジタル・アナログを混在させることはできません。(アナログ信号の映像を転送している場合は、アナログ信号の音声のみ取得できます)

また、お使いの機器によっては、映像と音声を別々に取得できない場合があります。

## HD FLOW本体の設定が保存できません。

ご利用のブラウザによっては保存が反映されないことがあります。

また、設定保存後は電源・接続ランプが点灯状態になっていることを確認してから接続を解除してください。

## 複数の送信機をマルチキャストで使いたい場合はどうすればいいですか？

送信機の本体設定画面で任意のグループIPを設定してください。同じグループIPを設定された受信機は、その送信機の接続対象として動作します。

## 各種認証を取得していますか？

本製品は、TELEC認証(工事設計認証)、FCC認証を取得し、CEマーキングを行っております。

## 工場出荷時の状態にリセットする

本体初期化を行うと、全ての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。マルチキャスト設定(受信機の複数台使用)も消去されますのでご注意ください。

**1** ACアダプタを電源コネクタから抜いてください。

**2** 電源・ソース選択ボタンを押しながら、ACアダプタを電源コネクタに接続します。

**3** 本体のランプが急速点滅するまで、そのまま約3秒間押し続けてください。点滅が確認できたら電源・ソース選択ボタンを押すのをやめ、本体初期化が実行完了するまでお待ちください。

## II 保証規定

1. 本書の注意にしたがい正常に使用した場合に限り、お買い上げの日より1年間無償で修理または交換いたします。
2. 修理または交換の必要が生じた場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げのお店もしくは当社へご持参いただくか、ご郵送ください。
3. 修理または交換のご依頼で、ご持参およびお持ち帰りに必要な交通費、または送付いただく際の送料および諸経費につきましては、お客様がご負担くださいますようお願い致します。郵送の場合、適切な梱包の上、紛失等避けるため簡易書留をご利用ください。
4. 保証期間内であっても以下の場合には有償修理となります。
  - イ. 誤用、乱用および取り扱いの不注意による故障
  - ロ. 火災、地震、水害および盗難等の災害による故障または紛失
  - ハ. 許可を得ていない不当な改造や修理による故障や損傷
  - ニ. 使用中に生じたキズ等の外観上の変化
  - ホ. 消耗品および付属品の故障、損傷または紛失
  - ヘ. 電池の液もれによる故障、損傷
  - ト. 保証書の提示がない場合および必要事項(お買い上げ日、販売店名等)の記入がない場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。いかなる場合においても保証書の再発行はいたしかねますので、大切に保管してください。

## II 修理をご依頼の前に

本書の「よくある質問と回答(P.29～P.30)」をよくお読みいただき、それでも解決しない場合は、サポートセンターまでご相談ください。

## 製品保証書

機種名	HD FLOW	型番	
保証期間	お買い上げ日より 1年間	お買い上げ日	年 月 日
お客様	お名前		
	ご住所	〒 -	
	お電話番号	- -	
	電子メール	@	
販売店			

- お客様へ  
本保証書は、保証規定に基づき製品に対し保証するものです。お客様欄をご記入のうえ、大切に保管してください。販売店欄に記入がない場合は、お買い求めのお店に記入していただいでください。  
※この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 販売店様へ  
お客様へのお渡し時に、販売店欄にご記入もしくは押印ください。

株式会社INBYTE [www.inbyte.jp](http://www.inbyte.jp)  
〒105-0013  
東京都港区浜松町1-17-4 第2丸芝ビル2階  
TEL : 03-6809-1702 (平日 10:30～18:00)



Invite to the new value  
**inbyte**  
[www.inbyte.jp](http://www.inbyte.jp)

**FC** **CE**  **RoHS**